



Super Multi DVD Drive

ユーザーマニュアル

お買い上げの製品のすべての特長と
機能をフル活用するために、
本ユーザーマニュアルを注意深く
しっかりお読みください。

日本語



GSA-4082B

▲ 注意 : Super Multi DVD Driveで使用されているレーザーは目を傷つける可能性があります。カバーは開けないでください。
感電のリスクを軽減するために、カバー(または背面パネル)を取り外さないでください。
内部には、ユーザーが修理できる部品はありません。
修理は正規のサービス担当者にご依頼ください。

本書に記載された手順以外での制御や操作は、有害な放射線の照射につながる恐れがあります。

▲ 警告 : 火災や感電のリスクを軽減するために、本装置を雨や湿気にさらさないでください。

カナダでの業界要件

本装置はクラスBデジタル装置で、Canadian Interference-Causing Equipment Regulationsの要件をすべて満たしています。

FCC適合宣言

注 : この機器はFCC規則の15章に沿ってテストされ、クラスBデジタルデバイスに関する制限への適合が証明されています。

これらの制限は、住居への設置にあたって有害な電波妨害からの妥当な保護を提供することを意図しています。この機器は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、無線周波エネルギーを放射する場合があります。また、指示どおりに設置および使用されない場合、無線通信の有害な電波妨害を引き起こす恐れがあります。ただし、特定の設置で電波妨害が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に対する有害な電波妨害となっている(機器の電源をオン/オフにすることで確認可能)場合は、以下の措置を1つ以上行って電波妨害を是正してください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する
- 機器と受信機を離す
- 受信機が接続されている回路以外の回路のコンセントに機器を接続する
- 代理店または認可サービスセンターに相談する

- FCCに関する警告

適合責任を負う関係者による明示的な承認なしに変更または修正が行われた場合、この機器をお使いいただけなくなる場合があります。

- このSuper Multi DVDドライブは、ULにリストされている、カードケージアクセサリのユーザーによる設置を詳細に説明した設置取扱書が添付されたPCとのみ使用してください。

この製品は、EEC指令89/336/EEC、93/68EEC、73/23EECの無線電波妨害要件に適合した形で製造されています。

▲ 注意 - この機器を開くと目に見えないレーザーが放射されます。光線をあびないようにしてください。

CLASS 1	LASER PRODUCT
KLASSE 1	LASER PRODUKT
LUOKAN 1	LASER LAITE
KLASS 1	LASER APPARAT
CLASE 1	PRODUCTO LÁSER
CLASSE 1	PRODOTTO LASER

この装置は次のマークのCD-ROMディスクを使用します。

この装置をCDプレーヤーとして使用する場合は、次のマークのコンパクトディスクを使用してください。

この装置は次のマークのCD-Rディスクを使用します。

この装置は次のマークのCD-RWディスクを使用します。

この装置は次のマークの高速CD-RWディスクを使用します。

この装置は次のマークの超高速CD-RWディスクを使用します。



警告: 超高速CD-RWメディアの書き込みまたは消去は、*Compact Disc ReWritable Ultra Speed*のロゴがあるドライブでのみ実行可能です。

超高速CD-RWメディアは、ディスクラベルまたはパッケージ上の同じ *Compact Disc ReWritable Ultra Speed*のロゴで認識できます。

*Compact Disc ReWritable Ultra Speed*のロゴがないCD-RWドライブを使用して超高速CD-RWメディアへの書き込みを行うと、データを損失する場合があります。

目次

特長	1
重要注意事項	2
システム環境	2
制御装置の部位と機能	3
ドライブの設置	4
デバイスドライバ	7
ディスクの使用方法	8
トラブルシューティング	9
仕様	10

- Microsoft® とWindows® は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- このマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

特長

- ・ 拡張IDE (ATAPI) インターフェース
- ・ ディスクのトレイへの自動ロードおよび取り出し(ディスクは手動で取り出すこともできます)
- ・ CD-R/RW, DVD-R/RW, DVD+R/RW, DVD-RAM ドライブの機能を1台のドライブに統合
- ・ CD-RW, DVD-RW, DVD+RW, DVD-RAM ディスクへの簡単な書き込みを実現するUDFをサポート
- ・ Region Playback Control Phase IIをサポート
- ・ Windows 98、2000 Professional、ME、XP Home Edition、XP Professionalをサポート
- ・ 自動バッファアンダーランエラー防止技術
- ・ 最大24倍速書き込み(CD-R)、最大16倍速書き込み(CD-RW)、最大8倍速書き込み(DVD+R)、最大8倍速書き込み(DVD-R)、最大3倍速書き込み(DVD-RAM)、最大4倍速書き込み(DVD-RW)、最大4倍速書き込み(DVD+RW)、最大32倍速読み取り(CD-ROM、CD-R)、最大24倍速読み取り(CD-RW)、最大12倍速読み取り(シングルDVD-ROM)、最大8倍速読み取り(デュアルDVD-ROM)、最大8倍速読み取り(DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-VIDEO)、最大3倍速読み取り(DVD-RAM)

*書き込み速度はディスクの性能に大きく左右されます。

CD-RW書き込み：低速：4倍速、高速：8、10倍速、超高速：16倍速

パッケージ項目

項目	数
- 内蔵型Super Multi DVD Drive	1
- 記録・作成ソフトウェア [B's Recorder GOLD、B's CLIP、PowerProducer Gold、 RAMドライバ、MPEG-2ソフトウェア(Power DVD)]	1
- E-IDE (ATAPI) ケーブル	1
- オーディオケーブル	1
- 取り付けネジ	4
- Super Multi DVD Drive マニュアル	1
- 空のDVD ディスク	1

重要注意事項

ドライブまたはディスクの取り扱い時には以下の注意に従ってください。

- この機器のメーカーは、不適切な設置または取り扱いによるデータ損失、および直接的または間接的な損害に対して、いかなる保証も行いません。
- メーカーは、この製品の使用または不具合によって発生した直接的または間接的損害に対していかなる責任も負いません。
- メーカーは、この製品によって発生したデータの損害に対していかなる責任も負いません。
- データ損失に対する保護手段として、重要なデータはすべてバックアップ(コピー)してください。
- ドライブを以下のような場所に置かないでください。
 - 多湿、高温、埃の多い場所、機械の振動がある場所、直射日光の当たる場所

ドライブは、水平または垂直に置いて使用することをお勧めします。

傾いた状態では使用しないでください。

- ドライブを寒い場所から暖かい場所に急に移動したり、急に室温を上げたりしないでください。結露が発生して、異常動作の原因になる恐れがあります。
- ドライブを移動する前に必ずディスクを取り出してください。ディスクが傷つき、データが損失する恐れがあります。
- 液体や金属などの異物がドライブに入らないようにしてください。異物がドライブに入った場合は、ドライブを購入した代理店にご相談ください。
- ドライブが動作しているときに電源を切らないでください。
- プライマリコネクタまたはセカンダリコネクタに2台のIDEデバイスを接続する場合は、2台両方がマスタまたはスレーブとして構成されていないことを確認してください。両方が同じ設定の場合、Windowsがドライブを実行または認識できないことがあります。
- DEケーブルの全長は18インチ(約45cm)より短くしてください。

システム環境

コンピュータ

この装置は、以下のシステム環境で動作します。

システム要件	CPU	Pentium III 700MHz相当以上のプロセッサを搭載したIBM PCまたは互換機
	メモリ	128MB以上
ハードディスク	5GB以上の空き領域 (書き込みに必要な空き領域はデータの質によって異なる)	
インターフェース	拡張IDEインターフェース(プライマリスレーブ、セカンダリマスタまたはスレーブとして)	
ドライブベイ	5.25インチハーフハイトベイが必要	
電源	+5V/+12V電源ソケットが必要	
ソフトウェアに必要なOS	ソフトウェアに必要なOS Windows 98/2000 Professional/ME/XP(Home) Edition/Professional)、Direct X 9.0以降が必要	
CD-R, CD-RW, DVD-R, DVD-RW, DVD+R, DVD+RW, DVD-RAM ディスク	CD-R : LG、三菱化学、Verbatim、太陽誘電、TDKまたはSKCのディスクを推奨 CD-RW : LG、リコー、三菱化学、Verbatimのディスクを推奨 DVD-R : 富士フイルム、Maxell、TDKのディスクを推奨 DVD-RW : JVC、三菱化学、TDKのディスクを推奨 DVD+R : 太陽誘電、Maxellのディスクを推奨 DVD+RW : TDK、富士フイルムのディスクを推奨 DVD-RAM : Maxell、Panasonicのディスクを推奨	

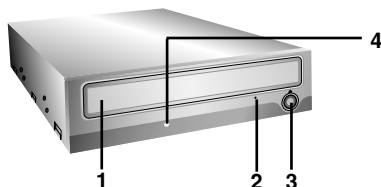
- CD-R/RWドライブで書き込まれたCD-RおよびCD-RWディスクは、他のCDドライブで読み取ることができない場合があります。このような読み取り不可のディスクは、作成したCD-R/RWドライブを使用して読み取らなければならない場合もあります。
- * CD-R/RWドライブで書き込まれたディスクは、マルチリード対応(UDF対応)のCD-ROM以外のCD-ROMでは読み取れない場合があります。
マルチリード対応(UDF対応)のCD-ROMとは、
1. 低反射率を読み取れるCD-ROM、2. パケット書き込みをサポートするCD-ROMのことです。
- 注意：一部のソフトウェア（特に動画再生機能のあるもの）では、満足できる結果を得るために、かなり高いPCの仕様が求められる場合があります。Super Multi DVD Drive(本製品)は、動画DVDディスクを読み取ることができますが、読み取られたデータを復号してPCのモニタに表示するには、別のハードウェア(MPEGデコーダカードまたはビデオカードによるMPEG復号)またはMPEG復号用にインストールする別のソフトウェアによってMPEG復号を別に行う必要があります。詳細は、MPEGソフトウェアのマニュアルを参照してください。

ソフトウェア

この装置を使用する前に、CD/DVD記録・作成およびDVD-RAMドライブソフトウェアをインストールしてください。
* 互換性の問題が発生するのを避けるために、PCに以前ロードしたCD作成ソフトウェアはアンインストールしてください。同梱のソフトウェアをインストール後、(必要であれば)エラーに注意しながら以前のソフトウェアを再インストールすることも可能です。

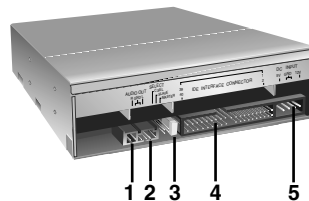
制御装置の部位と機能

前面パネル



1. ディスクトレイ
2. 非常時取り出し穴
3. 停止/取り出しボタン
4. ドライブ動作インジケータ
Super Multi DVD Driveの動作を示すために使用されるLED
読み取り:
ディスク読み取りセッションでは緑色が点灯します
書き込み:
ディスク書き込みセッションでは緑色が点滅(CD-R/RW, DVD-R/RW)または点灯(DVD-RAM, DVD+R/RW)します。

背面パネル



1. デジタル音声出力コネクタ
このコネクタはサポート対象外です。
2. アナログ音声出力コネクタ
3. ジャンパコネクタ
このジャンパは、ドライブがマスタとスレーブのどちらとして構成されているかを判断します。マスタとスレーブ構成の変更は、電源リセット後有効になります。
4. IDEインターフェースコネクタ
40ピンのフラットIDEケーブルを使用するIDE(Integrated Drive Electronics)インターフェースに接続されます。
注：電源がオンのときにケーブルを接続または切断しないでください。ショートやシステムの故障の原因となる場合があります。このケーブルを接続または切断するときは、必ず電源をお切りください。
5. 電源コネクタ

ドライブの設置

ドライブを設置する前に、以下の点に注意してください。

- 必要なもの:
 - ドライブ装置に取り付けネジを固定するための適当な大きさのスクリュードライバ。
 - コンピュータのマニュアル。IDEコントローラケーブルの取り付け位置を調べるために使用します。
- コンピュータのすべての周辺機器とコンピュータ自体の電源を切り、電源コードを壁のソケットから抜きます。
- コンピュータのカバーなどに触って、ユーザーが帯びている静電気を取ります。

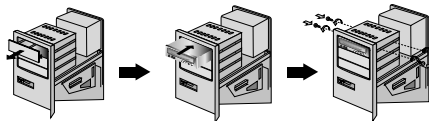
コンピュータカバーの取り外し

コンピュータのすべての周辺機器とコンピュータ自体の電源がオフになっていることを確認し、カバーを取り外します。カバーの取り外しについては、コンピュータのマニュアルを参照してください。

注：コンピュータ内部には鋭利な箇所がある場合がありますので、けがをしないように注意してください。

ドライブの実装

1. コンピュータから5 1/4"ドライブベイパネルを取り外します。詳細は、コンピュータのマニュアルを参照してください。
2. ドライブ装置をベイに差し込みます。コンピュータ内部のケーブルに余計な力をかけないでください。
3. ドライブを同梱のネジで固定します。ドライブの後ろに十分なスペースがない場合は、ドライブを固定する前にIDEや他のケーブルを接続します。

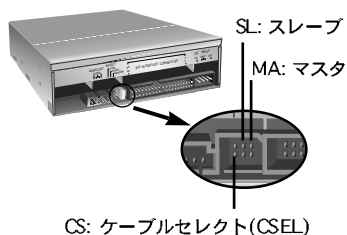


注：これは一般的な設置ガイドです。お使いのPCハードウェアの外観が異なる場合は、周辺機器の設置について、お使いのハードウェアのマニュアルを参照してください。

ジャンパの設定

設置の前にジャンパコネクタを背面パネルに設定します。

ドライブはマスタまたはスレーブとしてEIDE(ATAPI)インターフェースに接続できます。(4台以下の)複数のEIDEデバイスが接続されている場合、各デバイスを一意に設定する必要があります。ドライブの設置には、ハードウェアとソフトウェアの具体的な知識が必要です。



注：同じ設定の周辺機器が2台プライマリBDEバスまたはセカンダリEIDEバスに接続されると、ホストコンピュータを実行できない場合や誤動作が発生する場合があります。ご注意ください。

注：ジャンパコネクタに設置するジャンパは1つだけです。複数のジャンパが設置されると、ドライブの誤動作や故障の原因となる場合があります。マスタ/スレーブ設定は、ジャンパコネクタへのジャンパの設置で決まります。以下の表に、可能なジャンパ設定を示します。

名前	機能	C S	S L	M A
MA MA(マスタ)	マスタとして設定されたドライブ	○ ○	○ ○	■
SL (スレーブ)	スレーブとして設定されたドライブ	○ ○	■ ■	○ ○
CS (ケーブルセレクト)	ホストIDEインターフェースのCSELで設定されたドライブモード	■ ■	○ ○	○ ○

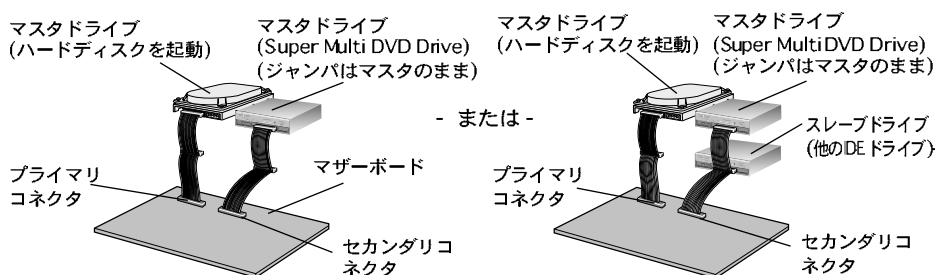
CSEL 設定を使用する場合、マスタ/スレーブの設定はハードウェア構成に従って自動的に行われます。詳細は、コンピュータのマニュアルを参照してください。

PCの接続

Super Multi DVD Driveは、IDEインターフェースケーブルでホストコンピュータのマザーボードに接続されます。Super Multi DVD Driveは、お使いのコンピュータによってスレーブデバイスとしてもマスタドライブとしても接続できます。

マスタドライブとして設置するには

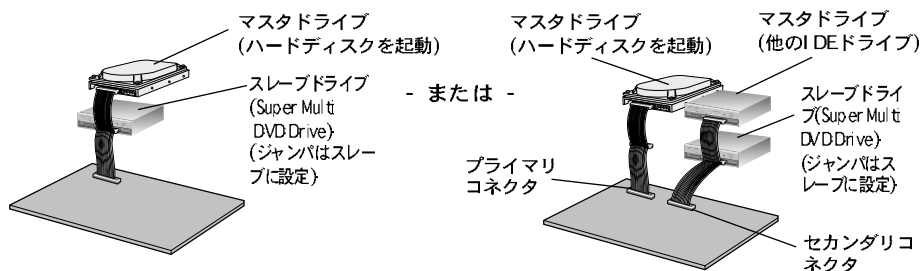
マスタとしてドライブを設置するには、ジャンパは購入時のままで構いません。



注：ハードディスクは通常、EIDE(ATAPI)インターフェースのプライマリマスタとして設置されます。ハードドライブやSuper Multi DVD Driveなどのその他のEIDE周辺デバイスは、別の方法で設定されます。

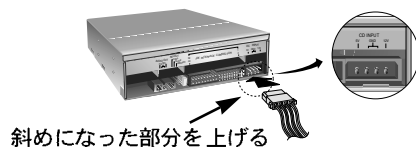
スレーブドライブとして設置するには

スレーブとしてドライブを設置するには、背面パネルのジャンパ設定をSLに変更します。



電源コネクタの接続

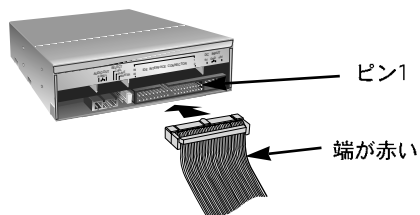
コネクタをコネクタ内の電源にしっかり合わせて、コンピュータの電源からドライブ装置のソケットに電源ケーブルを接続します。コンピュータに予備の電源ケーブルがない場合は、適当な種類の分配ケーブルを購入してください。



注：正しい接続が行われないと、ドライブが故障したり、保証が無効になる場合があります。電源コネクタは通常一方向にしか接続できません。

インターフェースコネクタの接続

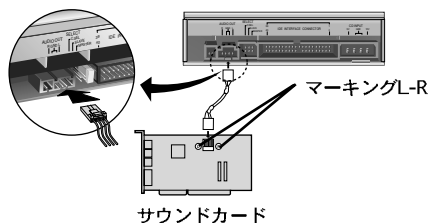
40ピンIDEケーブルをSuper Multi DVD Driveの背面に接続します。IDEケーブルの色付きストライプ(赤)がSuper Multi DVD Driveのピン1に接続されていることを確認してください(ピン1は電源コネクタに一番近いピンです)。



注：IDEコネクタは通常一方向にしか接続できない構造になっています。

サウンドカードの接続

コンピュータでサウンドカードを使用している場合、ドライブはオーディオケーブルでサウンドカードに接続されます。同梱のアナログオーディオケーブルは、ほとんどのサウンドカードに対応しています。または、お近くのコンピュータ取扱店で購入してください。



接続の詳細は、サウンドカードのマニュアルを参照してください。

コンピュータカバーの取り付け

ドライブ装置の設置の完了後、コンピュータカバーを元の位置に戻してください。

デバイスドライバ

Windows 98/2000 Professional/Me/XP Home Edition/XP Professionalを使用する場合、特別なデバイスドライバは必要ありません。新しいSuper Multi DVD Driveの設置と接続を行った後に電源を入れてシステムを起動すると、お使いのシステムが自動的にネイティブソフトウェアドライバを認識・ロードします。

以下のインターネットサイトをご参照ください。

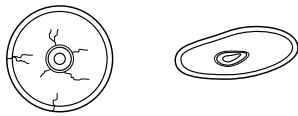
<http://www.lgservice.com> (一覧からお住まいの国を選んでください)

For Windows 98/2000/ME/XPユーザー

- 正常なドライブの動作を確保するために、以下を確認します。
 - ドライブが以下に表示されている。
Windows 98/ME : [コントロールパネル] - [システム] - [デバイスマネージャ] - [CD-ROM]
Windows 2000/XP : [コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] - [DVD/CD-ROMドライブ]
 - 32ビットが[コントロールパネル] - [システム] - [パフォーマンス]に表示されている。
- お使いのコンピュータがドライブを認識しない場合、以下の項目を確認します。
 - ❶ インジケータが、[コントロールパネル] - [システム] - [デバイスマネージャ] - [ハードディスクコントローラ]に表示されている場合は、PCのメーカーまたはマザーボードのメーカーに連絡して、適切なIDEコントローラドライバを入手してください。
- コントロールパネルの新しいハードウェアの追加を実行して、PCに新しいデバイスを再度検索させます。

ディスクの使用方法

CD-ROMディスク、CD-Rディスク、DVDディスクまたはCD-RWディスクを使用する場合、ステッカーやラベルをディスクに貼り付けしないでください。読み書きエラーの原因となるだけでなく、ディスクが破損してディスク内のデータが損失する恐れがあります。



この装置のディスクは非常に高速で動作しています。破損した、割れたまたはゆがんだディスクは絶対使用しないでください。ディスクが壊れた場合、ドライブの光学装置が破損する恐れがあります。

規格外のディスクは絶対使用しないでください。規格外のディスクでは再生やデータの適切な保存ができない場合があります。

緊急取り出し

このドライブには、ドライブの故障や停電などで必要な場合に、CDを手動で取り出せる機能があります。

注：この機能は緊急時以外使用しないでください。

- 1) 電源を切ります。
- 2) 先の細いもの(まっすぐに伸ばした頑丈な紙クリップなど)をイジェクトボタンの上の小さな穴に差し込みます。フロントドアが開き、ディスクトレイが途中まで飛び出します。
- 3) フロントドアを最後まで開き、親指と人差し指でディスクトレイをつかんで、慎重にまっすぐ引き出します。



注：この機能は緊急時専用の最終手段です。過度に使用すると誤動作の原因となります。

* ディスクトレイを手でしっかりつかめない場合は、スチールのバインダクリップまたはバネクランプで引き出してください。

トラブルシューティング

サービスを依頼する前に

サービスを依頼する前に、以下のリストを確認してください。

- ドライブに電源が入らない場合
 - ホストコンピュータからの電源ケーブルは差し込まれていますか？
 - 電源コネクタはドライブにしっかり接続されていますか？
- システムが起動しない場合
 - プライマリとセカンダリの接続およびマスタとスレーブは正しく設定されていますか？
 - IDEケーブルの全長は18インチ以下ですか？
 - 各コネクタはきちんと接続されていますか？

ドライブを設置している間に他の接続がゆるくなっている可能性があります。
- ディスクの読み取りまたは書き込みができない場合
 - (CPU、ハードディスクなど)その他のシステム条件は満たされていますか(P. 2のシステム環境を参照)？
 - CD-R、DVD、CD-RWディスクに汚れや傷はありませんか？
 - ディスクの書き込み中にスクリーンセーバなどのアプリケーションが動作していませんか？
 - CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RWおよびDVD-RAMディスクに十分な空き領域がありますか？
 - シミュレーションテストでも書き込みが失敗しますか？
 - ドライブにロードされたディスクの書き込み/読み取り面は正しい方向を向いていますか(ラベルが上)？
 - ドライブは正しい向きに設置されていますか？
 - ドライブまたはディスクを低温の環境から高温の環境に移動しませんでしたか？(ドライブのレンズやディスクの表面に結露が生じている可能性があります)

サービスを依頼される際は、お使いのシステム、環境、具体的な問題についてできるだけ多くの情報をご用意ください(発生した現象、時期、期間、現在進行中の現象、エラーメッセージが表示されたかどうかなど)。

注意：この製品はRegion Playback Control Phase IIをサポートしていますので、地域コード設定のない一部のMPEGデコーダカードやソフトウェアをお使いの場合、このドライブがDVD-ROMディスクを読み取れない場合があります。このドライブでは、5回まで地域コードを変更することができます。

仕様

項 目		CD/DVD/CD-RW	
全般	サポート対象ディスク	DVD(シングル/デュアル)、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R、DVD-RAM、CD-Digital Audio & CD-Extra、CD-Plus、CD-ROM、CD-ROM XA-Ready、CD-I RMV、CD-TEXT、CD-Bridge、CD-R、CD-RW、Photo-CD(シングル&マルチセッション)、Video CD、DVD-VIDEO	
	ディスク寸法	12cm/8cm、標準のCDサイズ	
	ホストインターフェース	E-IDE/ATAPI	
	読み書き速度	書き込み： (CD-R)：4、8、16、24倍速 (CD-RW)：4、8、10、16倍速 (DVD-R)：1、2、4、8倍速 (DVD-RW)：1、2、4倍速 (DVD+R)：2.4、4、8倍速 (DVD+RW)：2.4、4倍速 (DVD-RAM)：2倍速 ^(1-2.0) 、 3倍速 ^(1-2.1)	読み取り： (CD-ROM/R)：最大32倍速 (CD-RW)：最大24倍速 (DVD-ROM ^(シングル/デュアル))：最大12/8倍速 (DVD-R/RW)：最大8倍速 (DVD+R/RW)：最大8倍速 (DVD-VIDEO)：最大8倍速 (DVD-RAM)：2倍速 ^(1-2.0) 、 3倍速 ^(1-2.1)
	実装方向	水平/垂直	
パフォーマンス	データ転送速度 *持続	CD：CD-RW：1500～3600 Kバイト/秒(10～24倍速 CAV) CD-R/ROM：2070～4800 Kバイト/秒(14～32倍速 CAV) DVD：デュアル：4570～11000 Kバイト/秒(4.2～8倍速 CAV) シングル：6880～16200 Kバイト/秒(5.1～12倍速 CAV)	
	*バースト(ATAPI)	16.6 Mバイト/秒(POモード4)、(MULTI-DMAモード2) 33.3 Mバイト/秒(Ultra-DMAモード2)	
	平均アクセス時間 (ランダム)	CD-ROM：135ミリ秒(通常) DVD-ROM：155ミリ秒(通常) DVD-RAM：185ミリ秒(通常)	
	バッファ容量	2 Mバイト	
	MTBF	100000電源オン時間(負荷サイクル10%)	
	音声出力	ライン出力 47 kohmで0.7 Vrms(通常)	
環境レベル	動作時	温度：5～45°C	湿度：15～85%R.H.
	停止時	温度：-30～60°C	湿度：10～90%R.H.
寸法と質量	寸法(幅×高さ×奥行き)	5.75"x1.63"x7.27" (146x41.3x184.7mm)前面カバーを除く	
	重量	2.1 lbs(0.94kg)未満	
電気	電力	DC5V、DC12V	

ドライブの外観と仕様は、事前の通知なしに変更される場合があります。

注意!

ドライブ装置内のディスクは高速で回転しています。磨耗、破損したCD-ROMディスクまたは規格外のCD-ROMディスクはドライブに悪影響を及ぼし、使用中にディスクが粉々になる原因となる場合があります。ディスクが粉々になるのは、破損したCD-ROMディスクをドライブで使用した場合だけです。この現象が起こる可能性は極めて稀ですが、以下の手順でこれを防止してください。

ドライブに挿入する前に必ずディスクをチェックしてください。

1. 磨耗、割れた、破損した、曲がったまた品質の悪いCD-ROMを使用しないよう注意してください。ドライブの破損の原因となる場合があります。
2. ディスクの真ん中の透明なプラスチック部分をチェックしてください。この部分の破損が、ディスクが粉々になる主な原因です。
3. ハート形や名刺の形など規格外の形状(円形以外)のCD-ROMを再生しないでください。

ディスクの破損を防ぐために

1. 使用しないときは、ドライブからディスクを取り外してください。
2. ディスクは購入したときのパッケージに入れて、直射日光の当たらない熱源から遠い場所に保管してください。

動作中のドライブに対する過度の振動や突然の衝撃は、誤動作の原因となる場合があります。結露がドライブ内に発生する原因となる場合がありますので、急激な温度変化は避けてください。



Worldwide support ; <http://www.LGservice.com>
Worldwide corporate site : <http://www.LGE.com>
USA support (backup site) : <http://www.LGEService.com>
USA corporate site : <http://www.LGEus.com>

P/NO. 3828HM1052R

©2004 Made by LG